



上小小だより

教育目標
◎ 心豊かな子
◎ 進んで学ぶ子
◎ 健康な子

〒330-0855 さいたま市大宮区上小町 1337-1
HP <https://kamiko-e.saitama-city.ed.jp/> TEL:048-644-6251



互いを認め合う学校に

校長 大島 恵美

合間に差し込むやわらかな日差しの下、校庭では子どもたちが運動会に向けて元気いっぱい練習に励んでいます。リズムに合わせて一生懸命に踊る姿、声を掛け合いながら力を合わせて走る姿からは、それぞれの努力と成長が感じられます。いよいよ明日が本番です。子どもたちの一生懸命な姿を、どうぞ楽しみにしててください。

毎朝、子どもたちの登校の様子を見ていると、最高学年の6年生を中心に、班長・副班長が下級生の面倒をよくみて、一列に並んで歩いているので安心します。登校指導をしてくださっているボランティアの皆様や旗振り当番の方々にとっても、子どもたちの元気のよい挨拶、笑顔いっぱいの挨拶は、何よりの励ましになっています。これからも、毎朝すがすがしい風を吹かせてくれることを期待しています。

さいたま市立学校では6月を「いじめ撲滅強化月間」と定め、いじめのない学校づくりに向けた取組を全校で進めています。今月の講話朝会では、金子みずぶさんの詩を紹介します。

私と金子みずぶさんの詩との出会いは大学生の頃です。国語の授業を担当していた矢崎節夫先生から紹介されたのが、みずぶさんでした。その後、教職に就いて数年がたち、国語の教科書に矢崎先生が書かれた「みずぶさがしの旅」が掲載され、再びみずぶさんの世界に触れることになりました。驚きとともに、懐かしさと嬉しさがこみ上げたことを今でも覚えています。

「みんなちがって、みんないい」という言葉には、一人ひとりが違うからこそ世界は豊かになり、学び合いが生まれるという深い願いが込められています。子どもたちは、それぞれに得意なこと、苦手なこと、好きなこと、感じ方、考え方が違います。その違いは、決して比べるためのものではなく、互いを理解し、支え合うための大切な手がかりです。

ある子は走るのが得意で、ある子は絵を描くことが好き。ある子は静かに考える時間を大切に、ある子は友だちと話すことで力を発揮します。そのどれもが、その子だけが持つ“よさ”であり、誰かの代わりではなく、**唯一無二の存在である証**です。

違いがあるからこそ、子どもたちは学び合い、助け合い、時にはぶつかり合いながら成長していきます。そして、違いを認め合う経験は、いじめのない学校づくりの土台となり、子どもたちが安心して自分らしくいられる環境につながります。

上小小学校では、子どもたちのよさを見つけ、認め、励ます指導を大切にしています。子どもたちが自分の「ちがい」を誇りに思い、友だちの「ちがい」を温かく受け止められるよう、これからも丁寧に関わってまいります。